の田舎に惚れました

内子町地域おこし協力隊

岡 Ш

紘明

内子町の旧小田町で活動中

プロジェクト

全く知らなかったまち、内子

街の活性化、3 小田地区全体の情報 き家・空き店舗活用、2 小田中央商店 エリアの地域活性化です。中でも1 空います。私の任務は内子町内の旧小田町 ら協力隊に任命され、半年余り活動して 内子町地域おこし協力隊の岡山紘明で 2019年3月に引っ越し、4月か の3つに軸を置き、活動していま

ベーションす 書店」をリノ ジェクトとし 網羅するプロ ら3つの軸を にあった空き て、商店街内 そしてこれ 「旧土居

店舗

小田中央商店街はおよそ20店舗が残る のどかな通り

> ス、シェアオティングスペー フィス、シェア 子どもたちの遊 ハウス、地元の スペース、ミー 書館、イベント す。どい書店は まちの図



パン屋さん&料理人 即売会を行いました とどい書店にて



どい書店外観写真。運営メンバ-年齢は24歳です

との縁は2017年の春、所属する東京画、農村計画を専攻しています。内子町画した。15歳から現在まで建築や都市計私は1994年兵庫県神戸市に生まれ

大学大学院の研究室で「内子町歴史的風

参加したことから始まりました。 致維持向上計画」の策定プロジェクトに 内子町は町並み保存で有名な町です。

考えた記憶があります。 とも言えない感動を覚えました。そう ると出てくる、手入れされた集落になん 山村にある美しい田園風景や山道を抜けありませんでした。むしろ内子町内の農 それまで僕は古い町並みにあまり関心が いくような人間になりたい」と、将来を =寂れてるイメージが払拭されました。 いった集落が何箇所もあり、日本の田舎 「いつかこんな場所で農村風景を作って

ど様々なことが上手くいかず、 シャーに押し潰されていました。 2018年の夏、僕は大学院2年にな 研究室、アルバイト、学業、 プレッ

ら月におよそ300~400名を集客す

ほぼ買うものが無い店ですが、

町内外か

から車で25分、 JR「内子駅

20

文文 リレーレポート |地域おこし協力隊

の支援の延長線

上にある気がし

ていました。 時に東京の都会の暮らしに限界を感じ

らいしかなく(笑)、あらゆる人に助け がやりたいことを企画書にまとめ、 思い浮かんだのが、内子町でした。 仕事に就きたいかを考えた時に真っ先に 力隊として赴任することになりました。 の人に相談に行った結果、地域おこし協 食料、家電製品もいただきました。 てもらいました。車のレンタル、日々の 引っ越した当時は預金通帳に5万円く 今後どこで暮らしたいか、 家具の修繕も協力してもらいまし どういった 地元 自分

業務も地域の方おこし協力隊のし、現在の地域

方々に支えられ温かい地元の

そうやって

ながらスタート

古民家にて持ち寄りのワイン会を開催

およそ24回のイ での8ヶ月間で ます。12月末ま

ベントを行いま

したが、

、全ての

荒れた畑を利用して子どもとそばを 植えるイベント

じちゃん達と会話する毎日です。 がら通学路の小学生や、散歩しているお り、築94年のヴィンテージの家に住みな りません。見渡せば豊かな緑、 クリートジャングルの殺風景な景色もあ 員電車の窮屈でムッとした空気も、 《電車の窮屈でムッとした空気も、コン周辺環境を見ると、小田では通勤の満 清流があ

若者が暮らしやすい田舎へ

だ小田の地で、 を考えると、 わずか数ヶ月ですが、この慣 やはり空き家活用と荒れた 自分自身に何ができるか れ親しん

パートナーがい

をしてくれる

イベントで主催

会話教室、 ワ 多様なイベントを地元や近隣の町のパー く、楽しみながらイベント運営ができま トナーの方と企画することでストレスな ワイン会、 商店街活性化イベントなど、 耕作放棄地活用、 英

東京と比較すると

少し比較してみることにしました。 して何がいいの?」とよく聞かれます。 金銭面をみると、現在の家賃は東京 最近、東京の知り合いに「地方に暮ら

間取りに住んでいます。食費も東京にい10D2K(10部屋1土間2キッチン)のの2DKの家賃の半分以下のお金で、 ですが、シェアオフィスの人たちと囲む るときはコンビニ飯や外食が多かったの ことで半額程度に抑えられています。 うなイベン トや拠点、

にしていき 心地いい町、 住んでいて 組織を作 り、小田を



就任半年の区切りに活動報告会を実施

すい田舎」を創り上げたいです。 れらをうまく活用し、「若者が暮らしや田畑を活用していきたいです。そしてそ

ら東京に行くのも、空路を使えば3時間ンターチェンジまでは車で45分、小田か住む時代です。実際に小田から松山イ 分の気に入った愛着のある「地方」に仕方なく「都会」に住むのではなく、自の流動性が高まりました。仕事のために もかからずに行けてしまいます。東京も す。今ある小田の魅力をより引き出すよ 活性化のチャンスがあると感じてい 知ってもらうことで、 力をどんどん磨き、たくさんの人に町をこのような時代だからこそ、地元の魅 の区分は無くなり、全てが「地方」です。 ニューヨークも松山も小田も都会と地方 ンフラの発達により、世界的に人や情報 昨今、インターネットの普及や交通 それぞれのまち ま に